

6月18日(火)

威厳ある聖徒たち

聖書朗読 詩篇 16:1~11

地にある聖徒たちには威厳があり、私の喜びはすべて、彼らの中にあります。

詩篇16:3

ファーストレスポンドー(訳注:救急サービスに所属し、救急措置の訓練を受けている人)はヒーローです。私たちを守ってくれるような状況で働いている彼らが英雄と呼ばれるのは当然です。

他にも世に知られていない英雄が大勢います。頭を怪我した息子を生涯看護している母親。平凡な9時-5時勤務で家族をちゃんと養っている父親。長いこと生徒に読み書きを教えている小学校の先生。チームを優勝に導いたことはないけれども、一生懸命練習して打ち込むことの大切さを選手に誠実に教えるコーチ。年老いた親を介護する忠実な息子や娘。神様のみ言葉を根気強く語り、会衆を励ます、小さい教会の説教者。あなたにいつも寄り添ってくれる忠実な友。

これらごく普通のありふれた人々もまたヒーローです。弾丸をよけたり、燃え盛るビルに突入したりはしませんが、彼らがやっていることには同じくらいの勇気や責任が必要です。多くの人が必ずしも持ち合わせていない献身的な愛を彼らは持っています。

あなたの人生で出会った、そのような普通のヒーローたちのことを考えてみてください。もしできるなら、あなたがどんなに感謝しているかを彼らに伝え、そのような人々のゆえに神様に感謝しましょう。

讚美歌 287 イエス君の御名は

祈り お父様、人生で出会った全ての人々、信仰・希望・愛という遺産を与えてくれた人々に感謝します。感謝と愛をもって彼らをたたえることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ダグラス・ヘイル

6月19日(水)

平らな所を選ぶ

聖書朗読 詩篇 26篇

あなたの足の道筋に心を配り、あなたのすべての道を堅く定めよ。右にも左にもそれではならない。あなたの足を悪から遠ざけよ。 箴言 4:26~27

からみつく野生のブラックベリーの蔓^{つる}から足を抜こうとしながら、不動産屋さんから「警告されていたよね。」と思いました。私は炎天下、やぶにしがみつき、足場を見つけて一息つこうとしていました。8×12フィート(訳注:2.4×3.7メートル)の丘の草取りには相手こずりました。

一目で新しい我が家が気に入りました。松並木や野生生物や美しいアパラチア山脈のふもとや、もやが谷を漂^{ただよ}い上って行くさまなどを見て、ここに住もうと決めました。我が家を訪ねてくるお客さんたちは、斜面を見て、「えーっ、いったいどうやって草刈りするの。」と声をあげます。不動産屋さんから警告は受けていたが、それでも我が家が気に入りました。斜度60度の丘の草取りをする午後は、平坦な地面の有難さをしみじみ思う時間をたっぷり与えてくれます。

私は急斜面の庭がある家を選びました。一方、箴言の著者は私たちが歩む人生について、“斜度のある道”ではなく“平らな道”を選ぶように言っています。それは、つまり、“平らな道”を選ぶとは、正しい人生のための選択をするようにという意味です。主を敬う友を選びましょう。よく祈って物事を決めましょう。代価にかかわらず、正直なことをしましょう。あらゆる状況で神様に信頼しましょう。詩篇26篇の作者は、そのような原則に従って生きた人生に対する祝福を賛美しています。『私の足は平らな所に立っています。私は、数々の集まりの中で、主をほめたたえましょう。』(詩 26:12)と、彼は喜んでいました。

讚美歌 285 主よ御手もて

祈り お父様、岩の多い地をはっきりと見るように助けてください。あなたが導かれる所へ、ついて行くことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ケンタッキー州 グレイソン / フォーン・ナイト

6月20日(木)

神様に信頼する

聖書朗読 詩篇 40篇

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。 ピリピ 4:6

ダビデは失敗も成功も知っていました。彼は、犯した罪ゆえに、バテ・シェバが産んだ息子を幼くして亡くしました。息子アブシャロムは彼に対する謀反を引き起こしました。一方、巨人ゴリヤテには勝利を収め、神様は敵に対する大勝利をお与えくださいました。ダビデはまったく完全ではありませんでしたが、神様のみこころを求めた人として知られています。彼が神様に絶えず信頼し、神様のみこころを成したいと切に願っていたからです。ダビデは罪を犯すたびに何度でも神様に立ち返りました。

自分の身に降りかかってくることをいつもコントロールすることはできませんが、逆境や成功に対してどう対応するかはコントロールすることができます。パウロは、思い煩わないで、抱えている問題すべてを神様のところに持って行くようにと言います。ダビデは、自分が神様に受け入れられているのは全焼のささげ物や罪のきよめのささげ物によるのではなく、造り主なる神様が彼を愛してくださっているからだを知っていました。

失敗や過ちを犯しても、神様は私たちを受け入れ、愛し、恵みを賜うと信ずることを、ダビデから学ぶことができます。神様は私たちの心をご存じで、決して私たちをお見捨てにはなりません。つねに私たちの悔いた心に耳を傾け赦そうとされます。

讚美歌 494 わが行く道いついかに

祈り お父様、人生の旅路で起こる何事にも立ち向かうことができるように、平安と自信をお与えください。逆境にめげてしまったり、成功によって傲慢になったりしませんように。いつもあなたのみこころを成すよう求められますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ニューメキシコ州 アルバカーキ / カーラ・ロバーツ

6月21日(金)

主のみもとに行く

聖書朗読 詩篇 41篇

私は言った。「主よ、あわれんでください。私のたましいをいやしてください。私はあなたに罪を犯したからです。」 詩 41:4

神様とともに立ち正しくあろうと努力しているクリスチャンにとって、人生で犯した罪によって、霊的に孤立するだけでなく、身体的に病んでしまうことほど、辛いことはありません。罪によって引きずり降ろされたなら、主にすべてをおまかせして、へりくだった心をもって主のみもとに行く必要があります。私たちは、ダビデの思いを表した祈りと同じように祈ります、「神様、あわれんでください。私はあなたに罪を犯しました。ほむべきかな、主。」と。

罪を告白して、へりくだる時、主のあわれみと恵みによる素晴らしい癒しの過程が始まります。主は、ダビデになさったように、何のいさおもない私たちをも、ご自分の姿に似せて変えようとしてくださいます。

主が私たちをお用いになれるように、私たちが完全に主により頼んでいることを意識させるために、主が使っておられるものが、今日、あなたの人生の中に何かありますか。目を開け、心を開いて、主の前にへりくだり、お仕えしましょう。私たちの罪ゆえに傷つかれた主の御心をともにしましょう。そうすれば、主は私たちをご自分に似る者へと高めてくださいます。

人間の手にはあまりに大きい、あまりに難しい仕事をお与えください。

その時、私はあなたに頼るためによりやくみもとに行くでしょう。

あなたにより頼み、私の強さを見出すでしょう。 —W.H.ファウラー

聖歌 541 みなささげまつり

祈り 主よ、あなたにおゆだねしたいと思います。私が弱い時、私を助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / シェリー・リームズ

6月22日(土)

わが^{いわお}巖の神

聖書朗読 詩篇 42篇

鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、神よ。私のたましいはあなたを慕いあえぎます。…わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。私の前で思い乱れているのか。神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。

詩 42:1, 5

引越して親しい友人から遠く離れてしまったという経験がありますか。突然、日々の行き来がなくなってしまう。今でも強いきずなで結ばれていますから、あなたに何かあったら駆け付けてくれることは確かでしょう。でも、以前と同じという訳には行きません。その友だちとまた一緒にいたいと思いますか。もともと親しい関係でなければ、また会いたいという思慕の念は湧かないでしょう。

神様と親しい関係になれば、『鹿が谷川の流れを慕いあえぐように』神様をお慕いしたり、試練に遭う時、私たちのたましいが『生ける神を求めて、渇い』たりはしないでしょう。神様は沈黙されているように見えるかもしれません。私たちをお忘れになったときさえ思えるかもしれません。でも、私たちが神様との親密な関係を保っているならば、『神を待ち望』み、私たちの『顔の救い、私(たち)の神を』『なおも…ほめたたえる』ことができるでしょう、たとえ私たちのたましいが『うなだれている』時であっても。(詩 42:11)

困難な時に備える必要があります。その準備には、神様との日々の歩み、神様を信じお頼りする関係を深めることが含まれます。神様とコミュニケーションをとる時間を持つと、神様との関係が深まり、挫折して打ちのめされた時にも頑張り抜くことができます。

讚美歌 II 194 おおみ神をほめまつれ

祈り お父様、あなたのことを知り、あなたをもっと愛したいです。そうすれば、あなたが遠く感じられる時にも、あなたと共にいたいと願い、なおもあなたをほめたたえるでしょう。力を与えてくださるあなたにお頼りします。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ブレントウッド / キャシー・アンダーソン

6月23日(日)

力のすべて

聖書朗読 詩篇 59:16~17

私が呼んだその日に、あなたは私に答え、私のたましいに力を与えて強くされました。詩 138:3

重量挙げ競技は誰が一番力持ちかを競うものです。2021年の世界選手権で新記録が出ました。ジョージアのラシャ・タラハゼ選手がスナッチ、クリーン&ジャーク種目で492キロ、1084.67ポンドというとてつもない記録で優勝しました。おそらくいつかもっと強い選手によって彼の記録は破られるでしょうが、当時は彼が最強でした。

霊的な人生行路において問題なのは私の力ではなく、神様の力です。神様の力は無限です。ダビデ王が言ったように、『御手には勢いと力があり、あなたの御手によって、すべてが偉大にされ、力づけられるのです。』(歴代誌 I 29:12)生きて行く上で困難に遭い、自分は無力で何もできないと感じる時、イエス様のお言葉を思い出してください。『それは人にはできないことです。しかし、神にはどんなことでもできます。』(マタイ 19:26)

今日の朗読箇所、詩篇59篇で作者が断言しているのが良いです。彼は朝明けとともに神様の力と恵みを喜び歌い、彼のとりで、逃げ場であられた、神様の計り知れないご性質を認め、神様が彼の力であり、より頼むことのできるお方であると感謝しています。私たちも彼に倣って人生にアプローチしてみましょう。

讚美歌 I 神の力をとこよにたたえん

祈り 私の力である神様、あなたをほめたたえます。御力によって人生の戦い



をしのぎ通させてくださいました。自分の力ではなく、あなたの御力を常に誇ることができるよう。あなたこそわが岩、わが岩です。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

テキサス州 アマリロ / ダニー・マイズ